

1 年 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総診Ⅱ						内科					
2 年 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科			救急科			選択					
3 年 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総診Ⅰ											

【プログラム概要】

◆プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特徴

プログラムの中心となる利根中央病院は、群馬県北部の山間部に位置し、医療圏は群馬県の4分の1を占める。その広大な二次医療圏における唯一の総合病院として、当院には地域の各医療機関から多彩な症例が紹介される。病態生理学的な多彩性と共に、生活社会背景の多彩性にも富む症例が経験できる。

◆プログラムの理念、全体的な研修目標

様々なフィールドにおいて、自分の頭で考え、自分の足で歩き続けることができる、家庭医療専門医を育成するためのプログラムである。そのために、様々な特徴のあるフィールドを提供し、指導医、専門医、他の後期研修医、初期研修医など他の医師との関わりのみならず、多職種との関わりの中で、自身を振り返りながら研修を行うことを重視している。

◆指導体制に関する特長

後期研修後に病院での診療を希望する研修医にとっても、クリニックでの診療を希望する研修医にとっても、また臓器別専門医研修を希望する研修医にとっても役立つように、家庭医に求められる能力+αの研修を保障する研修フィールドと指導体制を整えている。

◆医療関係職種、保健・福祉関係職種、地域の住民、医療機関の利用者などの協力を得る方法

診療所と中小病院の病診連携のみならず、訪問看護ステーション、在宅総合支援センター、居宅介護支援事業所などが連携するフィールドを提供し、地域包括ケアに関わる形での研修を行う。

◆その他

いずれの場所で研修を行っていても、研修場所における各科研修の振り返りだけでなく、月に2回のFace to Faceの、振り返りを行い、形成的評価、学習会、SEA、ポートフォリオ作成を行う。

◆プログラムの全体構成(3年間で必要となる研修分野)

■総合診療専門研修Ⅰ(6ヶ月以上)診療所・小病院において外来診療、訪問診療、地域包括ケアの研修を行う。

■総合診療専門研修Ⅱ(6ヶ月以上)病院総合診療部門において、病棟診療及び外来診療の研修を行う。

※総合診療専門研修ⅠとⅡは、合計で18ヶ月以上の研修期間が必要。

■内科(6ヶ月以上)一般内科または臓器別の内科で、内科領域における基本能力(診断学、治療学、手技等)を修得するための研修を行う。

■小児科(3ヶ月以上)病院の小児科で、小児領域における基本能力(診断学、治療学、手技等)を修得するための研修を行う。

■救急科(3ヶ月以上)病院の救急部門に所属し、軽傷から中等症の救急症例への適切な対応能力を修得するための研修を行う。

■その他 外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科が希望に応じて選択可能。